



**アントレプレナーシップ教育に関する国際ワークショップ  
「世界のアントレプレナーシップ教育のベストモデルを共有する試み」を開催  
-イノベーションを生み若者の夢を実現するアントレプレナーシップ教育とは-**

## 概 要

平成 25 年 9 月 4 日（水）～6 日（金）、九州大学ロバート・ファン／アントレプレナーシップ・センター（以下、QREC）では、アントレプレナーシップ教育に関する 3 日間の国際ワークショップ「世界のアントレプレナーシップ教育のベストモデルを共有する試み」を開催します。

本ワークショップは、イノベーション人材を生み若者の夢を実現するために、これからのアントレプレナーシップ教育について各国の教育者関係者が経験を持ち寄り、教育手法や教材、育成すべきアントレプレナー像などをディスカッションして、今後目指すべき方向につき理解を深めることを目的としています。

1. 開催日：平成 25 年 9 月 4 日（水）～6 日（金）※2 日半
2. 場 所：西鉄グランドホテル  
〒810-8587 福岡市中央区大名 2-6-60  
会場 HP (<http://www.grand-h.jp/>)  
アクセス (<http://www.grand-h.jp/access/index.php>)
3. 主 催：九州大学ロバート・ファン／アントレプレナーシップ・センター（QREC）
4. 後 援（依頼予定）：日本ベンチャー学会、イノベーション教育学会、福岡市、福岡県、在福岡  
米国領事館他
5. 参加対象者：アントレプレナーシップ教育関係者 50 名程度（アントレプレナーシップ教育にご  
ご関心のある方も参加できます（人数枠有））
6. 参加費（食事代込）：3 日間 1 万 7 千円、9/4 のみ 1 万円、9/5 のみ 5 千円、9/6 のみ 3 千円
7. 言 語：英語 ※通訳なし
8. プログラム概要：下記参照
9. お申込 URL: <http://www.qrec.kyushu-u.ac.jp/events/view/53>

第 1 日目 9 月 4 日 (水) <気づき、アイデア創出からイノベーション創出まで>

9:00-9:15 開会挨拶(趣旨説明)  
九州大学ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・センター センター長/教授  
谷川 徹

9:15-9:45 基調講演  
「アントレプレナーシップ教育への期待 –私のアントレプレナー人生から–」  
SYNNEX Corporation 創業者/前会長  
スリープログループ株式会社 代表取締役会長  
ロバート・ファン博士 (Dr. Robert T. Huang)

9:45-11:15 ワークショップ I  
「NUS のアントレプレナーシップ教育について  
–ナレッジエコノミーの担い手を生み出す NUS の人材育成とは–(仮題)」  
シンガポール国立大学アントレプレナーシップ・センター センター長/教授  
ポー・カム・ワン博士 (Dr. Poh Kam Wong) (予定)

– 休憩 –

11:30-12:30 事例報告  
「大学の技術から途上国の課題解決ビジネスへ創造の試み  
–IT 技術の活用による BOP ビジネスの展開–(仮題)」  
九州大学大学院システム情報科学研究院 准教授  
グラミンコミュニケーションズ/プロジェクトディレクター  
アシル・アハメッド博士 (Dr. Ashir Ahmed)

– 昼食 –

14:00-15:30 ワークショップ II  
「デザイン思考教育の実際–スタンフォード大学 d.school の事例から– (仮題)」  
IDEO East Asia/マネージング・ダイレクター  
サンジン・リャン氏 (Mr. Sungene Ryang)

– 休憩 –

16:00-17:30 ワークショップ III  
「デザイン思考によるビジネス創造、イノベーション創造 (仮題)」  
アールト大学インターナショナル・デザインビジネスマネジメント専攻 (IDBM) 教授  
ピーター・マックグローリー博士 (Dr. Peter McGrory)

18:00-20:00 歓迎ディナー

**第2日目 9月5日(木)**

<知識・方法論より具体的アクションへ>

9:00-10:30 ワークショップⅣ

「起業教育と大学付属インキュベータとの連携によるベンチャー創造 (仮題)」  
台湾交通大学産学連携センター CEO/電子工学部 准教授  
チン・ヤオ・ファン 氏 (Mr. Ching Yao Huang)

－ 休憩 －

10:45-12:15 ワークショップⅤ

「日本のアントレプレナーシップ教育におけるビジネスプランコンテストの活用と展開  
－東京大学の事例を中心に－ (仮題)」  
東京大学 産学連携本部イノベーション推進部長/教授  
各務 茂夫博士

－ 昼食 －

13:45-15:15 ワークショップⅥ

「See-D Contest の目指すもの  
－途上国の課題解決と技術,アントレプレナーシップ－ (仮題)」  
ソニーコンピュータサイエンス研究所 アソシエイトリサーチャー  
See-D Contest 代表  
前 MIT/D-Lab 講師

遠藤 謙博士

15:30-16:30 事例報告Ⅱ

「アイデアをビジネスにする 54 時間  
－"Startup Weekend" のインパクトと人材育成への応用－」  
スタートアップ・ウィークエンド・デュッセルドルフ/オルガナイザー  
ダニエル・バーテル氏 (Mr. Daniel Bantel)

－ 休憩 －

16:45-18:15 ワークショップⅦ

「これからのアントレプレナーシップ教育カリキュラム体系のあり方を問う  
－九州大学 QREC の取り組みから－ (仮題)」  
九州大学ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・センター 副センター長/准教授  
五十嵐 伸吾

**第3日目 9月6日(金)**

<総括と各地域の現状確認>

9:00 -11:30 パネルディスカッション

「アントレプレナーシップ教育 3.0

－国や地域のイノベーション創造とアントレプレナーシップ教育の役割、課題－

パネラー：

日本 1名 (TBD)、アジア 2名 (TBD)、欧州 1名 (TBD)

モデレーター：QREC

11:30-11:45 総括とまとめ (Po-Kam Wong シンガポール国立大学教授) (予定)

－ 昼食 －

午後：エクスカージョン (唐津方面)

以上

ワークショップは報告者のプレゼンテーション 50-60%、  
質疑応答やディスカッション 50-40%の予定です。積極的に  
議論にご参加ください。

※イベントの撮影・取材（報道関係席）について

- 撮影、取材がある場合には、事前に下記お問い合わせ先まで、ご連絡ください。
- テレビカメラ等での撮影、取材等にあたっては、会議の運営や一般市民の傍聴の妨げにならないようご協力をお願いします。
- 会場内では事務局の指示に従って下さい。

※会議の資料について

- 当日、会議にて配布します。

**【お問い合わせ】**

九州大学ロバート・ファン／アントレプレナーシップ・センター 山田

電話：092-642-4013

FAX：092-642-4015

Mail：yamada@qrec.kyushu-u.ac.jp